

FAQ

以下、2023 年度秋募集の説明会（2023 年 8 月 2 日実施）に行われた質疑をもとに、FAQ を作成しております。

これ以外に、ご不明な点があれば、info@glafs.u-tokyo.ac.jp までお尋ねください。

【Q1】 国費留学生でもプログラムへの応募資格はありますか？また卓越 RA での支援は受けられますか？

【A】 国費留学生もプログラムへの応募は可能。国費留学生である期間は卓越 RA での経済的支援は受けられません。

詳しくは GLAFS ホームページに掲載の[卓越 RA 募集要項](#)をご確認ください。

【Q2】 長期履修制度を利用している場合もプログラムへの応募は可能ですか？その場合（休学も含め）の卓越 RA の支給期間はどのようになりますか？

【A】 長期履修制度を利用されていても、プログラムへの応募は可能。卓越 RA は履修の全期間支給ではなく、標準履修年限を上限に支給します。休学中は支給停止。復学後に再開。支給時期は相談可。

（修博 5 年の場合の例：M2 分の 1 年分、D1-3 分の 3 年分の上限 4 年分を支給）

【Q3】 博士進学を希望しているが、修士 2 年以降に海外留学をした場合、応募資格はありますか？

【A】 東大の博士課程に進学（東大に籍をおいたまま）であれば応募条件を満たします。

東大の博士に進学せずに他大学に留学する場合は、応募は認められません。

留学中、東大を休学するケース、留学先との協定で休学しないケースなどありますが、休学中は WINGS 卓越 RA の経済的支援は支給できません。復学後に支給再開となります。

【Q4】 卓越 RA の応募資格及び委嘱の選抜基準は？

【A】 WINGS-GLAFS プログラム生としての合格が応募条件。その他の詳細は卓越 RA 募集要項をご確認ください。卓越 RA（リサーチアシスタント）は指導教員の業務のサポートを行うもので、業務内容に問題がない限り、基本的には委嘱しています。

【Q5】 プログラムの選抜基準は？

【A】 WINGS-GLAFS の理念に合致する人。WINGS は修博一貫を支援するプログラムであり、最後まで修了する意思がある方を選抜基準の一つとします。

なお、提出された申請書と面接から、ご本人の資質の高さを複数の教員で総合的に判断します。ご本人の研究と高齢社会との関係性が必ずしも重視されるわけではありません。高齢社会と全く関係ないような研究でも、どこかでこの世界共通の基盤的課題とつながっていると思いますので、一見全く関係ないような研究をおやりになっても、高齢社会に興味があり、研究遂行能力が高ければ、高く評価されます。

【Q 6】 面接はオンラインですか？

【A】 オンライン（Zoom）で行います。

【Q 7】 応募申請書には図は入れることが可能ですか？

【A】 応募申請フォームの最後に、図を入れられる設定になっています。

【Q 8】 M2 修了時点で必要単位を取り終えていなかった場合、影響することはありますか？

【A】 基本的には D3 までに必要単位を取得していれば問題ないが、必修の通論 1，2 は基盤的な座学のため、出来れば早めに履修していただきたい。なお、M2 修了時に必要単位未取得を理由に、卓越 RA を減額したケースは今のところありません。

【Q 9】 SPRING GX と WINGS-GLAFS プログラムの違いは？

【A】 SPRING GX は博士課程対象。WINGS-GLAFS は修士博士一貫のため修士 1 年が応募対象。

SPRING GX は全学一体のプログラム。WINGS-GLAFS は WINGS の中の 1 プログラム。制度が異なるので、必修の要件も異なります。

【Q 1 0】 応募倍率は？

【A】 昨年度は 3 倍弱でした。

<その他、よくある質問>

【Q 1 1】 プログラムへの応募時点で、他の奨励金を受給している場合、応募は可能ですか？

【A】 修士 1 年の応募時点で、他の奨励金を受給している場合でも、応募は可能ですし、修士 2 年から本プログラムの卓越 RA を受給することは可能です。ただし、他の奨学金等との重複受給となる場合は、支給額の制限がある場合がありますので GLAFS ホームページの卓越 RA 募集要項をご確認ください。